

# みんなで知って、みんなで取り組む とちぎユニバーサル農業

## ◆「ユニバーサル農業」とは

子ども、学生、高齢者、障害者の方々など誰もが農業と触れ、身近に感じることで農業の多彩な効用を受け取り、元気になる笑顔になれる取組が「ユニバーサル農業」です。



◆農業は、安全で安心な食料を安定して供給するという重要な役割を担っています。さらに、植物、動物、土に触れる事で癒される心理的効用、農作業により体力が向上する身体的効用、食べ物が作られる過程を理解する教育的効用など、多彩な効用があります。

農業体験や農村との交流等を通じ多彩な効用を多くの方が実感し、農業・農村への理解の深まりや、農業・農村への応援の輪の広がりが期待されています。このため、県では、農業に取り組みたい、親しみたいの方々に対しサポートできる環境づくりを進めています。みなさんもできるところから取り組んでみませんか！

農業者等が、福祉施設等の農業活動を支援している事例を紹介します。

【事例1】障害者の就職に向けた訓練としての農業を農業者が支援

障害者就労支援事業所・工房つばさ（下野市）



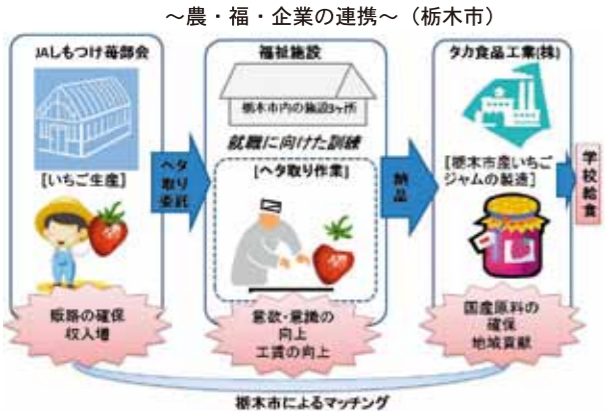
障害者が就職に向けた訓練として、農作業などに取り組んでいます。福祉施設の要請に応じ、農業者が栽培技術の指導をしたことで、収量・品質が向上しました。

農作業で体力・職業意識アップ  
農業を教えてもらいたい福祉施設はたくさんあるんです。



【事例2】福祉施設が参加した農商工連携で付加価値UP！

栃木市におけるいちごを通じたつながり



みんなが力を合わせたから、栃木市内の給食で、とってもおいしい、地元産のいちごジャムが食べられるんです！

「JAしもつけ苺部会」では、規格外のいちごの加工処理（へた取り作業）を栃木市内の福祉施設3ヶ所へ委託し、そのいちごを原料として地元ジャムメーカーが栃木市産いちごジャムを製造しています。

【事例3】農業者のほ場での障害者の農作業訓練

相良女性農業士

—福祉施設外の就労訓練—（宇都宮市）



農業者が農作業を委託し、受託した福祉施設の利用者4～5名が、付き添いの施設職員とともに週に2回午前中2時間程度を目安に、作業しています。ほ場での農作業が福祉施設外での障害者の就職に向けた訓練となっています。

施設の外での作業はちょっと緊張するけど、地域の皆さんとお話できて楽しいね！  
農作業を習得して農家に就職している方がいます。



農業者等が、都市住民、子ども、高齢者等様々な人が農業に親しみ、元気になるよう支援している取組を紹介します。

【事例1】高齢者施設内での農作業・園芸活動をボランティアがサポート

とちぎいやしの園芸研究会

園芸に関心の高いボランティアと、福祉施設や病院等が会員となっている団体です。会員である施設の利用者に園芸福祉のプログラムを提供しています。



(テラスでの園芸活動)

農作業や花飾りづくりで季節が感じられます。ボランティア会員も一緒に楽しんでいます。



※QOL：Quality of life  
生活の質（生きがいや幸福感）

【事例2】都市住民との交流で地域の元気づくり

足利・名草ふるさと自然塾(足利市)

名草地域のすべての住民の参加と市との協働により、名草地域の地域資源を活かした、教育ファームや、里山の環境を体験するプログラム等を提供し、都市住民や消費者等との交流による環境保全や地域の活性化に取り組んでいます。



広い畑で、作業して汗をかくの楽しいですね！みんなで収穫して、みんなで食べるごはんは、とってもおいしいよ。



(稲刈り体験)



とちまるくん

ユニバーサル農業ってなんだろう？  
まずは、知ってください。  
そして、出来るところから取り組みませんか。  
「農」でみんな笑顔になりましょう！

まずは、ユニバーサル農業について  
知ってみませんか

理解  
する



セミナーや講習会への参加・啓発資料の利用

農作業をやってみたい人を  
受け入れてみませんか

参加  
する



ほ場で農業体験を実施

農業技術を指導したり、農作業を  
支援してみませんか (ボランティア)

参加  
する



福祉施設や公民館等での技術指導

福祉施設へ農作業を委託  
してみませんか

参加  
する



加工用農産物の1次加工や除草を委託

問い合わせ先

栃木県農政部農政課食育・地産地消担当

TEL 028(623)2288 FAX 028(623)2340

ユニバーサル農業の推進

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g01/work/nougyou/shokutonou/h24universal01.html>

発行 平成25年7月